



在宅リハビリテーション エキスパート・ジェネラリストコース

あなたはエキスパートを目指しますか？ジェネラリストを目指しますか？
オールラウンドに対応可能な在宅リハビリテーションマスターを目指しませんか？



当会では2020年度より、「在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース（在宅リハEGコース）」を新設します。多様な知識・技術が求められる在宅リハビリテーションにおいて、自職種の知識のみに捕らわれず、あらゆるケースに対しオールラウンダーに対応可能な在宅リハビリテーションマスターを育成し、生活期（在宅）リハビリテーションの質の向上に寄与することを目的としています。

プログラムは、在宅リハビリテーションに関する総論から幅広い分野の各論を網羅するため、各分野の専門家に講師としてご登壇いただき、講師とのディスカッションやグループワークを通じて見識を深める内容となっています。

他には無い充実したセミナーとなっていますので、奮ってご参加ください。

※『エキスパートジェネラリスト』とはビルゲイツも提唱し以下の効果があると言われている。

- 1) 特定の分野やコミュニティに偏るバイアスの影響を受けにくいことから、より正確な予測、判断ができる。
- 2) ある分野で上手くいった事例を別の分野に横展開で生かすことで、画期的なアイデアを生み出せる。
- 3) エキスパート・ジェネラリストが異なる分野の人たちのコネクターとなって繋ぐことで、よりオープンなネットワークを築ける。

セミナー概要

【研修日程】 2020年5月開講 各回3日間 計4クール

① ~~5月22～24日~~ → 8月28～30日に変更

② 10月9～11日 ③ 12月4～6日 ④ 3月12～14日

【研修会場】 全国デイ・ケア協会事務局

所在地：東京都千代田区神田紺屋町14番地 千代田寿ビル3階

【研修費用】 ￥120,000（昼食代別）

【対象】 全国デイ・ケア協会会員施設のスタッフで、以下の条件に当てはまる方

- ◆ 施設長の推薦を得られる 専門職での経験8年以上の方
- ◆ 医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・管理栄養士・歯科衛生士 のいずれかであること
- ◆ すべてのプログラムにご参加できる方

【研修内容】 別紙参照

【定員】 30名

【研修申し込み】 下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。

〈申し込みフォームURL〉

<https://business.form-mailer.jp/fms/00472c0d115976>

〈申し込みフォーム〉

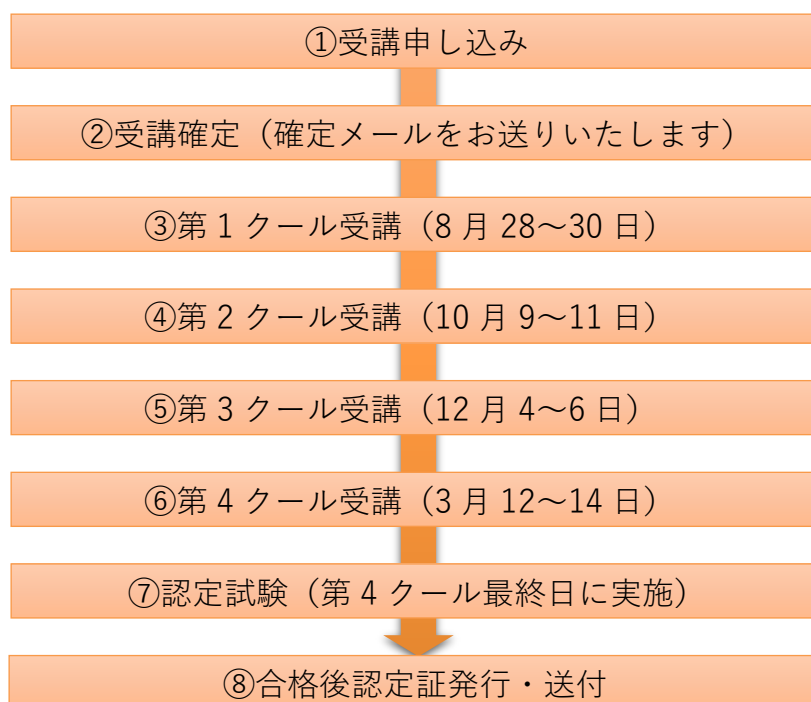


【申込〆切】 令和2年8月21日（金）



地域でその人の暮らしを支援するには幅広い知識と技術、他職種との協業・協力が必須になります。自職種の知識のみに捉われず、あらゆるケースに対しオールラウンダーに対応可能な在宅リハビリテーションマスターを育成し、生活期（在宅）リハビリテーションの質の向上に寄与したいと考えています。是非共に学びましょう。

【認定証発行の流れ】



【講義テーマ一覧】

※次頁をご覧ください

講義テーマ	講師	所属
在宅リハビリテーション総論	近藤国嗣	一般社団法人 全国デイ・ケア協会 会長
在宅リハに必要な診療報酬・介護報酬のポイント	近藤国嗣	一般社団法人 全国デイ・ケア協会 会長
内部疾患の在宅リハビリテーション	海老原覚	東邦大学 教授
在宅における神経・筋疾患患者に対する必要な知識とその対応	原元彦	帝京大学医学部附属溝口病院 教授
フレイル・サルコペニアに対する評価と支援	山田実	筑波大学 教授
がん患者の在宅リハビリテーション	辻哲也	慶應義塾大学病院 准教授
認知症の理解とその対応	田中志子	医療法人大誠会 内田病院 理事長
発達障害児小児に対する必要な知識とその対応	和田勇治	東京都立小児総合医療センター
精神疾患を有する者に対する必要な知識とその対応	未定	
在宅リハに求められる必要な評価と解釈	澤潟昌樹	在宅総合ケアセンター元浅草 副施設長
在宅に必要なフィジカルアセスメントの知識とリスク管理の方法と実際	宮越浩一	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 リハビリテーション科 部長
在宅リハに必要な摂食・嚥下機能の評価と応用	戸原玄	東京医科歯科大学 准教授
在宅リハに必要な栄養学とその対応	近藤国嗣	一般社団法人 全国デイ・ケア協会 会長
排泄学 排尿・排便の仕組みと在宅における支援	西村かおる	NPO法人日本コンチネンス協会 会長
在宅におけるADLの評価とその対応 排泄・移乗・入浴	坂田祥子	東京湾岸リハビリテーション病院 リハビリテーション部 副部長
在宅リハ支援に必要な住環境整備の理解と実践	小林毅	一般社団法人 日本作業療法士協会 理事
在宅リハビリテーションにおける転倒予防	大高洋平	藤田医科大学 教授
在宅リハビリテーションに必要な脳卒中患者の歩行再建と装具療法	近藤国嗣	一般社団法人 全国デイ・ケア協会 会長
ケアマネジメントの理解と自立支援	能本守康	一般社団法人 日本介護支援専門員協会 常任理事
活動参加に効果的に働きかけける生活行為向上マネジメント	土井勝幸	一般社団法人 全国デイ・ケア協会 副会長
かかりつけ医の役割と連携における工夫	石垣泰則	コーラルクリニック院長／一般社団法人日本在宅医療連合学会 代表理事副会長
通所リハビリテーションの果たすべき役割と他事業所連携	岡野英樹	一般社団法人 全国デイ・ケア協会 理事
通所介護の果たすべき役割と他事業所連携	小室貴之	株式会社楓の風 代表
訪問リハビリテーションの果たすべき役割と他事業所連携	宮田昌司	一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会 会長
訪問看護の果たすべき役割と他事業所連携	高砂裕子	全国訪問看護事業者協会 常務理事
在宅生活者に対する施設リハビリ（老健）の果たすべき役割と他事業所連携	野尻晋一	一般社団法人 全国デイ・ケア協会 理事
総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の基礎知識と関わり	長江翔平	厚生労働省 老健局 老人保健課 課長補佐
在宅リハにおける失語症者の支援と対応	山本徹	医療法人社団永生会 法人本部 リハビリ統括管理部
在宅生活を送る高次脳機能障がい者の支援	橋本圭司	はしもとクリニック経堂 院長
就労支援に必要な制度の理解と効果的な実践例	平田好文	医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院 理事長
在宅リハ支援の中で人生の最終段階における意思決定支援に必要な知識とその対応	佐原まち子	一般社団法人WITH医療福祉実践研究所 代表理事
在宅リハにおける倫理的配慮と事故対応	鈴木雄介	鈴木法律事務所（医師／弁護士）
在宅支援に求められるコミュニケーションスキル	取出涼子	医療法人社団輝生会 教育研修局 部長
在宅リハビリテーションにおける情報管理	染谷和久	かすみケアグループ 情報戦略室 室長
事業所運営と事業戦略の考え方と業務改善による生産性向上への取り組み方	岡野英樹	一般社団法人 全国デイ・ケア協会 理事